



ものべ



教育目標

- 1 明るくたくましい子ども
- 2 よく考える子ども
- 3 進んではたらく子ども
- 4 思いやりのある子ども



校長室から

啐啄の機を大切に！

皆さんは『啐啄（そったく）の機』という言葉をご存知でしょうか。

この言葉は、真岡市教育委員会の基本方針の中でも述べられているものですが、卵の中の雛鳥が殻を破ってまさに生まれ出ようとする時、卵の殻を内側から雛がつつくことを「啐」といい、それに合わせて親鳥が外から殻をつつくのを「啄」というそうです。雛鳥と親鳥が、内側と外側からつつくタイミングが一致することで、殻が破れて中から雛鳥が生まれ出てくる。このように、両者の動作が一致することにより目的が達せられる「両者が相応じる得難い好機」のことを「啐啄の機」あるいは「啐啄同時」というそうです。このタイミングは早すぎても遅すぎてもいけません。タイミングを逸すると雛を死なせてしまいます。親鳥はかたときも離れず卵を抱いて、絶えず観察しているので雛のサインを見逃さないのです。



さて、この「啐啄の機」ですが、親子の関係はもちろん、教師と子どもの関係にもあてはまります。特に、心身の成長が著しい小・中学生の時期は、親や教師がこの「啐啄の機」を見逃さず適切に援助していくことが大切となります。過保護、過干渉、ほったらかし、好き放題・・・、といったことにならないよう、子供の目線に立ち、自分の思いだけで動かないよう心がけたいものです。本来、子供たちは自分の力で解決したいという思いが強いものなのです。だからこそ、できれば手を出さず、子供が自力で解決する姿を見守るという姿勢を大事にしていきましょう。

このことは、山口県の教育者であるAさんが子育てについて提唱した「子育て四訓」の中にも次のように書かれています。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 一、乳児はしっかり肌を離すな | 三、少年は手を離せ、目を離すな |
| 二、幼児は肌を離せ、手を離すな | 四、青年は目を離せ、心を離すな |



奥深さを感じる言葉だと思いませんか。この四訓と私自身の子育てを照らし合わせてみると、我が子のそれぞれの時期に肌、手、目を離しすぎてしまったような気がしてなりません。せめて最後は心を離さないように、必要な時に、必要な手助けをしてあげられればと思っています。

物部っ子の自慢話 3

・現在、「勉強を教えてもらいたい、自分から勉強したい」という子が、昼休みになると会議室にやって来ます。“ひらめき教室”という名称で、月・水・金曜日に実施している学習教室です。主に担任以外の教員が指導にあたり、子供たちが多い時には会議室が満席になるほどです。中には宿題を学校でという子もいますが、自主的な学びを進め、勉強の楽しさが少しでも味わえるような時間となることを願っています。

12月の主な予定

- ・ 12月 1日（金）ストーブ使用開始
- ・ 12月 4日（月）朝会
- ・ 12月 5日（火）感謝の会
- ・ 12月 6日（水）職員会議



- ・ 12月 19日（火）弁当の日
- ・ 12月 20日（水）大掃除
- ・ 12月 25日（月）第2学期終業式
- ・ 12月 26日（火）冬季休業（1月7日まで）



活動の記録

【 10月17日(火) 秋の遠足：1～5年生 】



〔 1年生 〕



〔 2年生 〕



〔 3年生 〕



〔 4年生 〕



〔 5年生 〕

・秋の遠足に出かけました。行先は1・2年生が子ども総合科学館、3年生は茨城県自然博物館、4年生は日光方面、5年生は東京の上野公園でした。当日は、雨のち曇りといった天候でしたが、楽しい遠足となりました。

【 10月19～20日(木・金) 6年生修学旅行 】



1日目は、冷たい雨と風の中、江の島・鎌倉の班別自由行動でした。江の電を利用して、鎌倉大仏や鶴岡八幡宮などを見学しました。中華街で夕食をとり、宿は横浜の豪華なホテルでした。2日目は山下公園、国会議事堂を見学し、月島で昼食のもんじゃ焼きを食べ、最後は、浅草寺・仲見世を散策しました。文化や歴史にふれ、友と大いに語り合い、学級の絆をまた一步深めることができた修学旅行であったと思います。



【 10月26日(木) 1・3・5年生 音楽タイム 】



1年生



3年生



5年生

各学年らしさを感じられる合唱や演奏でした。

特に、5年生の演奏は体を使って、音楽の楽しさを表現した、見ている人にとっても楽しい演奏となりました。

表彰の記録

今月は、夏休み中の課題として提出された作品等につきまして、コンクールや審査会があり、多くの児童が表彰されました。芸術・文化の秋にふさわしい本校児童の活躍ぶり、そして、支えてくださいました保護者の皆さんに感謝いたします。今回、表彰された児童の中で、特に、4年生の 枝 渚紗 さんの「路傍の石」俳句大会の作品は、栃木県知事賞ということで、栃木県で1番という輝かしい賞でした。大変おめでとうございます。

- 下水道いろいろコンクール〔書道〕**金賞** 4年 臼井 凜、**銀賞** 3年 飯山 綾音、〔作文〕**金賞** 4年 臼井 凜
- 真岡市文化祭〔詩部門〕**奨励賞** 6年 秋山 林檎、**佳作** 2年 高橋 満天、6年 小嶋 香穂、鷺谷 花怜、山口 虎華
- 〃 〔随筆部門〕**準文化祭賞** 4年 松本 瑠莉、**奨励賞** 6年 鈴木 飛翔
- 芳賀地方芸術祭〔短歌部門〕「小学生下学年の部」**入選** 3年 鈴木 翔太、野沢 光希
- 〃 〃 「小学生上学年の部」**入選** 5年 相馬 由楽、新村 倅生
- 〃 〔川柳部門〕「小学生上学年の部」**入選** 4年 臼井 凜、5年 相馬 由楽
- 〃 〔詩部門〕「小学生上学年の部」**特選** 6年 山口 虎華
- ミルクの国とちぎ小学生絵画コンクール **優秀賞** (県農政部長賞) 4年 枝 渚紗
- 下野新聞小学生読書感想文コンクール **優秀賞** 1年 松本 璃希、**佳作** 6年 秋山 林檎
- 2017「家庭の日」絵日記コンテスト **優良賞** 1年 荒川 結寿
- 真岡市教育祭 **優秀児童** 6年 小貴 煌太
- 芳賀郡市教育祭 **優良模範児童** 6年 鷺谷 花怜
- 山本有三記念「路傍の石」俳句大会 **栃木県知事賞** 4年 枝 渚紗

◇ 受賞した作品

母ちゃんを ボクが見送る 夏休み

親子の愛情たっぷりの俳句ですね。忙しいお母さんにとっては、まさに、我が子の「いってらっしゃい」は、元気になる魔法の言葉ですね！

